

事務事業 No./名称	■サービス部門 生推一06 都市提携事業				ザイムスコード及び個別事業名	
	□支援部門				736	都市提携事業
主管課	文化推進課		関連課		1377	都市提携事業
分野名	多文化共生社会					
目標 (目標値)	人権を尊重し、人との出会いを大切にすまち					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	1,862千円	2,980千円			
	(国・県)			指標と評価		
	(負担金等)					
	(一般財源)	1,862千円	2,980千円	指標		
	人員配置数	0.7人	0.5人	評価		
	人件費	6,715千円	4,813千円			
	協働の パートナー	国際交流・協力団体連絡 会	国際交流・協力団体連絡 会	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
事務事業 運営経費	総事業費	8,577千円	7,793千円	20年度		
	市民1人当 りの経費	49円	44円	21年度		
	対象者1人 当りの経費	-	-	22年度		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度		
				最終年度 (年度)		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・都市間交流のあり方が転換期にあることから、市民主体の交流事業を幅広く支援するためには、現 行奨励金制度の見直しも必要になってくる。 ・都市交流については、市民や市民団体による実質的な交流が主体となり行政は、支援体制を整え 交流しやすい環境を整備することが必要である。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・現行の姉妹都市を対象とした奨励金制度などの見直しを検討した。平成21年度は、山口県萩市及 び長野県上田市との姉妹都市提携30周年であったため、記念事業を実施し、都市間の友好を深める ことができた。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ①市民を主体とした都市交流を進めるための奨励金交付など現行制度の見直しを実行できなかった。 ②都市提携締結時から30年以上(ニース市とは40年以上)経過し、インターネットの普及や物資流通の加速等、 社会経済状況が大きく変容する中で、文化交流の必要性は残るものの、鎌倉市において他自治体との情報交 流・経済交流の必要性が薄れている。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 上記②及び海外渡航が日常化している状況を勘案し、姉妹都市親善交流や国際交流の奨励金交付 要綱について見直しを行う。(鎌倉で開催される市民による草の根レベルの交流等、市民の国際理解 に貢献するものについては継続する。) ・既存の提携都市とは、今後も適切に交流を継続する。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性	
C	有	提携都市との親善交流を継続し、市 民を主体とした都市交流や国際理解 を推進していく。		C	有	提携都市との親善交流を継続し、市 民を主体とした都市交流や国際理 解を推進していく。
課長名	青山 陽子		部名・部長名	生涯学習推進担当 植松 芳子		